



発行者

諫早市立真城中学校  
校長 山内 昇

## 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。 (德育)
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。 (知育)
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。 (体育)

### ○ 体育館のトイレがリニューアルされました！



10月初旬から改修工事を行っていた、体育館のトイレが完成しました！昨日から使用できるようになりました。

①古い便器・石の壁を撤去、②配管工事・電源工事、③タイルの貼替、④新しい壁（ボード）の設置、⑤新しい便器の設置、と約1か月を掛けた大工事でした！

完成した新しいトイレは、温水洗浄機能付便座+便座ウォーマー+水の流れる音、など、設備も充実しており、一気に現代的なトイレとなりました。今後、B棟⇒A棟と順次、回収工事を行う予定です。年末までしばらくの間、生徒の皆さんには不便を掛けますが、工事完了までしばらく待ってもらえばと思います。なお、体育館は災害時にも利用するので、「豪華仕様」となっています。A棟・B棟は通常の洋式トイレになる予定です。これからは、「使う人」のマナーが試されると思います。リニューアルしたトイレを、真城中生徒全員で大切にしていきたいと思います。これも「輝継」（輝きを受け継ぐ）です！！

## ○ 1年生野外活動（工業団地見学・その1）

1年生は、30日（木）・31日（金）の2日間、野外活動に取り組みました。2日目の活動は、中核工業団地の見学です。「ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング」、「ANAコンポーネントテクニクス」、の2か所を訪問、加えて中核工業団地自治会で、中核工業団地の概要について説明をしていただきました。クラスごとに分かれての活動でした。



「ANA」では、飛行機の様々な電装品を修理・整備する様子を、間近で見ることができました！中には、高級車1台分や、家一軒分以上の値段のパーツもあり、生徒たちは感嘆の声をあげていました。また、一つのパーツを1週間以上かけて、一人の方が責任をもって仕上げることにも驚かされました。旅人の安全を、多くの方が、様々な形で支えていることを実感しました！！



また、工場内の至るところに、整理された工具が置かれており、まさに「凡事徹底」、「整理整頓」が徹底されていました。大切な仕事を確実に行うためには、地道なことの積み重ねだということを、目の当たりにすることができました。コンピュータが発達する時代ですが、やはり「人の手と汗」が私たちの生活を支える土台だと、強く感じました。工場で働く方も、私たちが質問すると、快く答えてくださったことにも感激しました。「将来、ここで働きたいな～！」という声も生徒たちから聞こえてきました。日本には羽田と諫早の2か所にしかない施設だそうです。

## 今日の給食（5日）



今日（5日）の給食は、**栗ごはん**、**野菜入りたまご焼き**、**のっぺい汁**、**昆布の炒め煮**、でした。栗ごはんは「秋の味覚」の代表！です。諫早市内で一体どれだけの栗が使われたのか想像しました。のっぺい汁も、鶏肉、厚揚げ、にんじん、ごぼう、深ねぎ、里いも、こんにゃく、と具沢山でした。昆布の炒め煮には、昆布、かまぼこ、油揚げ、いんげんも入っており、今日1日でたくさんの食材を食べることができました。「秋の味覚」と書きましたが、11月7日（金）は「立冬」で、これからは「冬」に向かってまっしぐらです。長い「夏」が終わったと思ったら「秋」はあつという間に終わりに差し掛かり、「冬」の気配が見えてきました。「四季」という言葉の通り、4つの季節がバランスよく来てくれたらと感じます。今日の給食を食べながら、季節について考えさせられました！